



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第8巻第6号) 編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第8巻第6号) 編集後記・購読要項・投稿内規
. 泌尿器科紀要 1962, 8(6): 394-394

ISSUE DATE:

1962-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112306>

RIGHT:

謹呈

Vol. 8, No. 6

Acta Urologica Japonica

June, 1962

泌尿器科紀要

第 8 卷 第 6 号

昭和 37 年 6 月



随想 むべ(郁子)とあけび(通草)とポーネと	広瀬常雄	335
尿路腫瘍とホルモン環境		
■ 甲状腺と尿路腫瘍	石部知行	337
結石を伴った海綿腎の2例	小田完五・平竹康祐・井上 進	360
線維素溶解現象及び低線維素原血症を伴った前立腺癌の1例	林威三雄・矢野久雄・桜井 昶・村上文夫・門田尚武・草刈一友	369
矮小腎を伴う尿管隆前庭開口例	並木重吉・高橋 洋	380
皮膚転移を伴った右原発性精嚢腺腫瘍が疑われる膀胱後腔腫瘍の剖検例	内倉信康	383
泌尿器科感染症に対する Cathocycline の応用	江藤耕作・古野干城・飯田 収	388
編集後記・購読要項・投稿内規		394

Endocrinological Studies on the Patients with Urogenital Tumors.

III. Thyroid Gland and Urogenital Tumors.	T. Ishibe	337
Two Cases of Sponge Kidney Associated with Urinary Calculi.	K. Oda, Y. Hiratake and S. Inoue	360
Fibrinolysis and Hypofibrinogenemia Associated with Cancer of the Prostate:		
Report of A Case.	I. Hayashi, H. Yano, T. Sakurai, F. Murakami, H. Kadota and K. Kusakari	369
A Case of Ectopic Ureter with Hypoplasia of the Kidney.	S. Namiki and H. Takahashi	380
Retrovesical Tumor (Suspected Primary Carcinoma of the Right Seminal Vesicle) with Multiple Metastatic Cutaneous Tumors: Report of A Case.	N. Uchikura	383
Clinical Use of Cathocycline for Urological Infections.	K. Etou, T. Furuno and O. Iida	388

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要

Acta Urol. Jap

編集後記

現在 私ノ教室デ最モ頭ヲ悩マシテイル事ハ 多クノ地方病院カラ泌尿器科医師ヲ求メラレテイルノ一 赴任スル医師ノ居ナイ事デアル。赴任ヲ希望シナイト云ウノデハナク 赴任スルベキ医師ノ人員ニ余裕ガナイノデアル。赴任出来ルヨウナ フリー ランサー ガ居ナイノデアル。私ハ以前カラ特ニ 大学ニ於ケル泌尿器科ノ講座 或イハ 総合病院ニ於ケル泌尿器科診療科ノ独立ヲ主張シテ来テ 実際ニ事態ハソノ方向ニ進ンデ居リ 地方病院モ泌尿器科医ヲ要求スルヨウニナツテイルノデアルガ サテソウナルト 肝腎ノ泌尿器科医ガ居ナイト云ウ実状デアル。折角 コノヨウナ状勢ニナツテ来タノニ コレニ応ズル事が出来ズ マコトニ残念デアル。コレニハ種々ノ原因ガアリ 従ツテ対策モ色々アルデアロウ 原因ヲ考エテ適当ニ対処スル必要ガアルト思フ

全国ノ大学ニテ 1年間ニ医者ニナル人数ノ合計ハ 戦前ト現在ト殆ド変ラヌ 人口モ患者モ増シテイルノデアルカラ 医者ノ絶対数ハ足ラヌ事ニナル。又 内科 外科等ヲ多ク志望シ 泌尿器科等ハ少イ ソレハ当然トシテモ 少な過ぎル。大学院学生ハ 4年間ハ就職シナイ トニ角 泌尿器科教室員ハ少クテ 需要ハ多イ 又 赴任シテモ 泌尿器科ノ定員ハ殆ド 1名デ 仕事ノ量ハ多ク 給与ハ低イ 永年勤メテモ高ガ知レテイル。子弟ノ教育サエモ充分ニ行ウダケノ見込ミハナイ 院長ニナレルノモ 多クハ内科医デアル。

ソコデ対策ハ ドウアルベキカ。先ズ医学生ヲ増ス。卒業生ガ特定ノ科ニアマリニ集中シナイヨウニ 何ラカノ方途ヲ講ズル。泌尿器科専門医制度ヲ作ル。勤務医ヲ優遇スル。コレニハ定員ヲ増シ 俸給ヲ高クスル。開業医トノ経済的ノ格差ガあまり大キクナイヨウニシテ 勤務医ノママデ安心シテ居ラレルヨウニスル。医者ヲ一般公務員並ミノ待遇デハナク 医療職ハ特ニ高ク扱ウベキデアル。勤務医デハ食エナイカラ 開業スルノモ無理ハナイ現状デアルガ 然シソレデハ公的病院ガ成リ立ツテユカヌ ソレハ国民ニトツテモ 病人ニトツテモ不幸ナ事デアル。又 開業医ガ多クナルノハ 開業医自体ニトツテモ困ル事デアロウ。日本ノ将来ヲ長イ目デ見ルト 開業医制度ハ漸次縮小サレルベキモノデアロウ ソノ見地カラモ 勤務医ノ地位ハ高メラレルベク 又 泌尿器科専門医ノ養成ガ重要デアル(昭和37年6月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名:誌名、巻数:頁数、年次。
例。中野:泌尿紀要、1:110、昭30。Lazarus, J. A. J. Urol., 45:527, 1941。
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く
6. 掲載料は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。